

## 〈どろんこ遊び〉

今日は園児たちと山遊びの日。朝は雨が降っていたので、山遊びは無理かなと思っていたら、どんどん晴れてきた。多少ぬかるんではいるがこのチャンスは活かすしかない。一緒に活動しているTさんと相談し、急遽“どろんこ遊び”に方向転換。どろで作ったおにぎりやくし刺し団子、かしわもちなどを見せ、食べる真似をするととたんに顔がほころぶ。「よし、じゃあ早速作ろう！」とぬた場に連れていくと、我先にと走った子が案の定スッテンコロリン。ニカ〜っと笑って白い歯を見せた。園児たちはすぐにどろ遊びをやるかと思ったら、滑るのが楽しく、キャッキヤ言いながら滑って遊んでいた。できれば裸足にさせたかったが、先生が大変なので今回は止めた。その後は団子を作ったり、かしわもちを作ったり、、、。サラサラの土が水分を含むとこんなにグニュグニュ、ベチョベチョになることを遊びながら気づいていく。そんな中、「さわりたいくな〜い」という子が2, 3人いた。手はきれいなまま。「洗えばすぐにきれいになるよ」と言ってみたが、ダメだった。もちろん無理強いはしない。そんな子がいてもいいのだ。ただ、先生には園児と一緒にあってどろんこ遊びに興じ、一緒に楽しんで欲しかった。端から見ているのではなく作った団子を見せあって、「ほら、先生もお団子作ったよ」と分かち合っ欲しかった。そしたら、嫌がっていた子も少しは触ってみるかもしれない。

